

2011 年

8 月 18 日（木曜日） 地域と住民が主役の新しい時代へ - 全国青年市長会総会 -

本日、全国青年市長会の総会が、北海道登別市で全国各地から 23 にのぼる会員市長が参加して盛大に開催されました。昨年 8 月から本会の会長をさせていただいていますが、参加各市長の皆さんに、とりわけ本日は登別市の小笠原市長さんはじめ同市職員の皆さんには格別にお世話になり、心から感謝申し上げます。また、今日は、北海道知事の代理として竹村地域振興監さん、登別市議会の高橋議長さん、また、講演をいただきます、じゃらんリサーチセンター長の沢登さんにもご参加いただき、本当にありがとうございます。

さて、今、我が国全体として、経済や財政の問題、主権や外交の問題、エネルギー、福祉や社会保障など、広く国のかたちと中身が問われ、また、大震災からの国全体の復興という国の力、底力も大きく問われています。他方で、これを第一義的に担うべき、国家政府の政権は現在、流動的で揺れている最中にある。このコントラストの中で、私は、今こそチャンス、地域にとって、何より住民・国民にとってのチャンスだと思う。国のかたちが問われる中、基礎的自治体が中心になって、改めて、住民・国民の立ち位置深くにかえていく。国のふしんの杭やくさび、柱を立ち位置深く打ち込んで、住民・国民にしっかりと根ざした国づくりをしていく、とても大事な絶好の機会であります。国と地方のあり方も上っ面の議論ではなく、住民・国民の立ち位置低く平場から、地域から、地べたに根のある国のかたちを考える。そんな中で、自ずと真の地方立権（これは横にねていたのが立ち上がるくらいの趣旨ですが・・・）、真の住民主権の国づくり、さとづくり、さとと国の協働が育まれるのだと思う。

今まさに、時が熟し、夜明け前の一番暗い時。地域と住民が主役の新しい時代を迎える、黎明の時であります。私たち青年市長会の皆さんの青年の情熱とエネルギーでもって語り合い、研鑽し、力を合わせ、新しい時代へとここ登別からさらに前進をしていきたいと思う。

登別は北海道を代表するような素晴らしい自然と温泉のまち、熱いマグマが脈打っているまちであり、地下に脈打つマグマに感応し共鳴するかのよう、熱い討議がなされた。かつてフロンティアを切り拓いていった、この黎明の地から、真の地方の時代が切り拓かれていく、そんな曙がますます明るく明けのぼりいくよう、いよいよ実りの豊かな大会にしたい。

最後に、この大会をもって会長としての 1 年間の任期を終えることとなり、役員市長の皆さんや会員市長の皆さん、事務局の皆さんには、この間、沢山たくさん、お支えいただき、とても貴重で素晴らしい役割を務めさせていただくことができ、本当にありがとうございました。子ども手当の問題はじめ国等への提言活動、日本青年会議所との連

携、東日本大震災・とりわけ会員市である陸前高田市への応援活動など、役員、会員市長の皆さんのご指導とご協力により、微力ですが自分なりにできる限りの尽力をさせていただきますことができました。重ね重ね、ありがとうございました。今後とも、地域と住民が主役の新しい時代を皆さんと展望・共有し、ますます大切な陸前高田市の復興応援はじめ本会の様々な活動、本会の大切な仲間との交流と連携に、深い感謝とともに尽力していきたい。